

東洋大学

◇ ライフデザイン・経営・経済・国際・国際観光・社会・情報連携・食環境科学・総合情報・文・法 ◇
 — 2月8日実施 — 時間 60分
〔問題〕 全4問

1 河童は、きゅうりと相撲が好きな水辺の妖怪として知られている。次の表1は、各地に伝わる河童に関する伝説をまとめたものである。これを読み、以下の問いに答えよ。

表1

地域	河童にまつわる伝説
A	淵に沈んだ槍先を除いたお礼に、河童が銅印を持ってきた。
B	川で悪戯をはたらく河童が取り押さえられたが、妙薬を伝えて許された。
C	河童が悪戯をし過ぎたため、和尚に懲らしめられた。
D	講話によって悟りを開いた河童が、池を掘ると火事にならないと伝えた。
E	川で泳いだ人が河童の皿の毒で陸に上がれず、河童に肛門を取られた。
岩手県遠野市	(a)馬を水中に引きずり込もうとして失敗した河童は、村の裁判にかけられ、詫び証文を書いて川に帰してもらった。
東京都台東区	河童が治水工事を手伝ったという言い伝えが残っている。(b)現在も合羽橋の名が残る場所がある。
山口県	ひどい干ばつに襲われたために、(c)鍾乳洞の中で雨ごいをする僧侶を河童が世話をした助けた。

出典：志村有弘『妖怪の日本地図』から作成

問1. 表1のAは、2016年に廃炉が決定した高速増殖炉「もんじゅ」が存在する自治体である。Aに該当する自治体名として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 北海道泊村 ② 佐賀県玄海町 ③ 静岡県御前崎市
- ④ 福井県敦賀市 ⑤ 宮城県女川町

問2. 次の表2は、表1のBとCに該当する県で生産量が多い農産物や畜産物および飼養頭数の多い家畜を示している。BとCに該当する県名として最も適切なものを、次の中から一つずつ選べ。ただし、一つの選択肢は一度しか選べない。

表2

	1位	2位
きゅうり(2019年)	C	群馬県
メロン(2019年)	B	熊本県
ピーマン(2019年)	B	C
鶏卵(2019年)	B	鹿児島県
豚の飼養頭数(2019年)	鹿児島県	C

宮崎県は促成栽培が多い
ピーマン、きゅうり

出典：『日本国勢図会2021/22』、『データブック オブ ジャ・ワールド2021』から作成

- ① 青森県 ② 茨城県 ③ 高知県
- ④ 埼玉県 ⑤ 宮崎県 ⑥ 山形県

問3. 表1のDは海に面していない県であるが、河川流域における発電用水として利用可能な水量は日本で第1位である(2020年)。Dに該当する県名として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 岐阜県 ② 滋賀県 ③ 栃木県 ④ 奈良県 ⑤ 山梨県

問4. 表1のEは、温泉の源泉総数と再生可能エネルギー自給率がともに全国で上位2位以内に入っている県である。温泉の源泉総数と再生可能エネルギー自給率が全国で上位3位以内の県(秋田県・大分県・鹿児島県・静岡県)の順位を示した次の表3をよく見て、Eに該当する県名として最も適切なもの

のを、次の中から一つ選べ。

地熱発電

表3

	源泉総数(2019年度)	再生可能エネルギー自給率(2019年度)
E	1位(5,088)	2位(43.3%)
F	2位(2,749)	3位(41.5%)
G	3位(2,244)	26位(20.5%)
H	11位(625)	1位(45.1%)

注：再生可能エネルギー自給率とは、地域内の再生可能エネルギー供給量の年間推計値を地域内の家庭用、業務用、農林水産業用のエネルギー需要の合計で割った値である。

出典：環境省「温泉利用状況」、千葉大学倉阪研究室認定 NPO 法人環境エネルギー政策研究所「永続地帯2020年度版報告書-都道府県分析」から作成

① 秋田県

② 大分県 八丁原地熱発電所

③ 鹿児島県

④ 静岡県

問5. 表1中の下線部(a)の舞台となっている地域を流れる河川名として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

① 阿武隈川

② 岩木川

③ 雄物川

④ 猿ヶ石川

⑤ 最上川

消去法で出来るか？

珍問 問6. 岩手県内で行われる伝統的行事を撮影した写真として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。



チャグチャグ
馬コ 岩手

越中おわら節
富山

ねぶた祭
青森

あまぎ祭
鹿児島

問7. 表1中の下線部(b)に関する説明として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 江戸時代から続く歓楽街である。
- ② 近代的なショッピングモールである。
- ③ 渋谷川に架かる木製橋の名称である。
- ④ 食器や調理器具などを扱う問屋街である。
- ⑤ 山の手台地にある陸橋の名称である。

石灰岩

問8. 表1中の下線部(c)の名称として最も適切なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 秋芳洞
- ② 安家洞
- ③ 日原鍾乳洞
- ④ 白雲洞
- ⑤ 龍河洞

2 コーヒー生豆生産国に関する次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

コーヒー生豆は、図1に示したコーヒーベルトと呼ばれる地域で主に栽培されているが、(a)成長期には雨が多く、収穫期に乾燥する環境が栽培に適していると言われている。2019年のコーヒー生豆生産量は、第1位ブラジル、第2位ア、第3位コロンビア、第4位インドネシア、第5位エチオピア、第6位ホンジュラスであった。アの2020年の人口は約9,700万人であり、日本に在留している外国人の数(2020年)は、この国が第2位である。また、アの輸出額(2019年)で多いのは機械類と衣類である。

地熱発電ランキング

- ①アメリカ
- ②インドネシア
- ③フィリピン

地熱資源量

- ①アメリカ
- ②インドネシア
- ③日本

地熱発電割合の高い国

- ☆ニュージーランド
- ☆アイスランド